



日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、批准することを求める請願

紹介議員

山内善男 

山田多津子 

辻真理子 

請願趣旨

人類史上はじめて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が「国連会議」で7月7日、国連加盟国の3分の2（122カ国）の賛成で採択されました。

このように国際社会が「核兵器のない世界」に向かって動きだしているとき、北朝鮮がミサイル発射をくりかえすだけでなく、9月3日に6回目の核実験を強行したことは世界の大勢に逆らう暴挙でしかありません。世界で唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に賛同・批准し、北朝鮮に対して核の放棄を迫れば、世界の世論とともにこれほど説得力あるものではありません。

72年前の8月6日、9日と広島、長崎に相次いで原子爆弾が投下され21万人をこえる人々の尊い命が一瞬のうちに奪われただけでなく、いまなお放射線による被爆者の苦しみが続いています。原子爆弾による惨禍を身をもって体験された被爆者のみなさんは、「再びこの悲劇を繰り返してはならない」と訴えてこられました。世界のなかで原子爆弾の唯一の被爆国である日本政府はこの被爆者の苦しみに身を寄せるなら、いち早くこの条約に賛成し批准すべきです。

しかし日本政府はこの条約が審議された「国連会議」に参加しなかったばかりか「署名、批准する考えはない」と述べています。

特に彦根市は昭和58年に核兵器廃絶都市宣言を行い「世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかるに、核兵器は、ますます量的拡大と質的高度化の一途をたどり、人類の平和共存に深刻な脅威を与えている。我が国が世界唯一の核被爆国として、全世界の人々に、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを訴え、核の惨禍を二度と繰り返させないことが、国民に課せられた使命である。彦根市は、市民の安全のために、我が国の基本方針である非核3原則を堅持することはもとより、更にすすんで世界の人々と相携えて、その希求する世界の恒久平和を実現するため、ここに核兵器廃絶の平和都市であることを宣言する。」と述べているのです。

つきましては、この請願書にご理解を賜り、下記の請願事項が実現するよう、地方自治法第99条の規定に基づき政府に意見書を提出いただき、強力な働きかけをお願い申し上げます。


請願事項

- 1、 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、批准すること

平成29年9月7日

請願者：住所 彦根市西今町203

氏名 平和・民主・革新の日本をめざす彦根の会

代表 多賀 重雄 

彦根市議会議長

八木 嘉之 様

